



ホームステイの1日目はお母さんが空港に迎えに来てくれて家に行きました。その日の夜、日本から持ってきたお土産を渡したら予想以上に喜んでくれました。とてもうれしかったです。長旅のせいか疲れてしまい、この日は9時に寝ました。

2日目。大きいショッピングモールに行って買い物をしたが、1階にスケート場があつてびっくりしました。家でステータキをこちそうになつた後、夜は生徒だけのパーティーがあり参加しました。自分から積極的に話し掛けて交流を深めることができました。たくさんの人と友達になれて良い思い出になったことに満足しています。

佐藤絵美里さん
サトウ・エミリ
(登米高2年・東和町)



3日目の朝食は、パンケーキショップに行ってパンケーキを食べました。量が大きかったので残してしまい、謝ったら「わたしたちも食べられないから気にしないで」とお母さんたちは優しく言ってくれました。すごく心が広い家族だなと思いました。

夜はお兄ちゃんたちとバズルをしました。お兄ちゃんはフットボールをやっていて、地区で一番強いチームだそうです。夕食後、近くのスーパーマーケットに行き、おいしいアイスクリームをみんなで食べました。

今回のホームステイで感じたことは、アメリカ人は本当にみんなフレンドリーなこと。誰にでも気軽にあいさつをし、楽しく会話することはとても良いことだと思いました。そこが日本人とアメリカ人の違いだと思います。

また、買い物をするにしてもアメリカの店員は、笑顔で話し掛けてくれました。たとえ言葉が通じなくても無愛想な人は誰一人いなかったのだから、楽しく買い物できました。日本はアメリカから学ばなければいけないことがたくさんあると思います。

本当に今までにない良い経験

出発前、僕の中にはアメリカの地を踏む感動とホームステイで英語が通じるのかという不安が交錯していました。でも、やはり不安が大きかったのか、機内食はほとんどのどを通りませんでした。

また、ほかのホストファミリーが来ているのに僕のホストファミリーが来ていないことも、僕の不安をより大きくしました。

その後、ホストファミリーが到着し車に乗りました。不安が最高潮に達しましたが、ここで僕の不安は一掃され

高橋 利史君
タカハシ・トシフミ
(佐沼高2年・南方町)



験を積むことができました。わたしがこのような体験をできたのも、地域の皆さん、先生方、そして家族のおかげだと思つています。皆さんに感謝します。



感動いっぱいアメリカ8日間 サウスレイク体験記



研修派遣生徒

氏名	学校名	町域
阿部真衣子	登米高2年	迫町
阿部千尋	登米高2年	登米町
佐藤絵美里	登米高2年	東和町
三條亜弥	佐沼高2年	米山町
菅原佳恵	佐沼高3年	中田町
西條愛美	佐沼高3年	豊里町
高橋利史	佐沼高2年	南方町
佐藤巧	登米高3年	登米町

※サウスレイク市

合併前の登米町が1990年から交流している友好都市で登米市が引き継ぐ。昨年7月にはサウスレイク市の高校生10人と引率者2人が登米市を訪問、登米町の家庭でホームステイ体験をしました。7月には布施市長が訪問予定。中・高校生派遣事業は通算10回目。

■事前研修

1月27日、2月3・24日、3月17日
自主研修の内容について
英会話練習 など

■本研修

3月24日
市役所にて出発式
日本出国、サウスレイク市到着

3月25日～27日
ホームステイによる交流
市内自主研修

3月28日
サンフランシスコへ移動
市内自主研修
●ツインピーク●ゴールデンブリッジ

3月29日
市内自主研修
●アルカトラス島

3月30日
アメリカ出国

3月31日
日本到着

■事後研修

4月5日
市長へ帰国報告
登米公民館で感想発表、経過報告

国際交流を通じて外国の文化を学び、国際感覚を身に付けてもらおうと市が実施している中・高校生海外派遣事業。今回は、市と友好関係にあるアメリカテキサス州サウスレイク市(※)に登米・佐沼高生8人と引率者2人が訪問。3月24日から31日まで8日間の研修のうち、サウスレイク市での3泊4日のホームステイ体験を紹介します。